

## 1. 入試 【学生募集・入試制度】

### (1) 学生募集

- ・女子比率の向上
- ・高校&予備校との情報交換の充実
- ・高大連携化の促進
- ・オープンキャンパス来場者アップ
- ・本学の強みである「キャリア開発面」を訴求
- ・大学案内パンフレット・ミニ冊子の内容の充実
- ・ホームページ・携帯ホームページのコンテンツの充実

### (2) 入試制度 各入試方式において

- ・AO 入試、指定校推薦入試、留学生入試、一般入試 A、M 方式において見直しを実施

### (3) 入学前課題

- ・教務課の入学前教育と連動して、あるべき入学前課題プログラムを策定する

## 2. 一般広報活動

### (1) 大学の情報を一元的に集約・管理し、本学 WEB サイトへのタイムリーな掲載

### (2) WEB サイトリニューアル後 (2009 年 3 月末)、定期的なアクセスログをとり、分析結果をもとに常に進化させるサイト作りを行う。教員プロフィール、研究業績などのページの充実を図る。

### (3) 大学ブランディング (短期・中期・長期) 構築に向けた取組み

### (4) 学内広報の充実として、情報を一元的に管理することで得た情報を学生・教職員にいち早くポータルや掲示板を使って訴求する

## 3. 研究・教育

### (1) 現行カリキュラムの評価

### (2) 教育ベースのコンセプトの検討

### (3) 大学院カリキュラム改革の実施

### (4) サービス産業学部新カリキュラムの円滑なスタート

### (5) 少人数教育への取組み

### (6) 2005 年度以前入学生 (旧カリキュラム生) の対応

#### 4. 社会連携・研究支援関連

- (1) 研究費の管理運営体制の構築
- (2) 正確な補助金管理業務の遂行
- (3) 社会連携の推進
- (4) 個人研究費関連

#### 5. 図書館

- (1) 来館者数の向上 <本学学生の利用度アップ>
- (2) 既存の学生参加型プログラムの伸長と改善を図り、学生の満足度向上とのびしろ UP に貢献する
- (3) 利用者の層別分析と層別の対策立案。特にほとんど利用しない層の対策の立案と実施。グループ学習室の稼働率向上

#### 6. 学生支援

- (1) 課外活動の活性化 課外活動加入率目標 65%
- (2) 体育会、文化会クラブの加入率増
- (3) スポーツクラブ活性化タスクの提案の実践
  - ・新入部員の確保
  - ・環境整備（西側グラウンドに人工芝の導入、新グラウンドの誕生、トレーニングルームの整備、第 1 クラブハウスの整備・修繕）
  - ・技術指導支援（専門トレーナーによる技術指導、メンタルトレーナーによる指導）
  - ・女子クラブへの支援
- (4) 学園祭の活性化
  - ・体育会、文化会の参画、コラボレーションによる流科大らしい学園祭イベントの新規提案
- (5) 課外活動の情報発信
  - ・クラブ紹介ツールの作成
  - ・クラブ戦績のタイムリーな情報発信、HP の更新
- (6) 「面倒見の良い大学」を実践する事業の拡充
  - ・下宿生(新入生対象)へのケア
  - ・教育後援会計画案件
  - 学生相談体制の充実(カウンセラー1名増員・カウンセリングルームの増設、定例報告会による情報の共有化)

- (7) 流科大及び流科大の学生が地域や企業から支持・評価されるための学生支援
  - ・学生への活動機会の提供（学内体験プログラムの取りまとめ・冊子の作成）
  - ・新規学内体験プログラムの企画・実施
  - ・留学生と一般学生の交流促進（日本人学生への情報発信強化）
  - ・地域交流活動を実施
  - ・学生へのボランティア促進
  
- (8) 新教育後援会の活性化
  - ・父母への情報提供の充実
  - ・父母と教職員の交流促進
  
- (9) 有朋会活性化への支援
  - ・キャリア開発課への協力体制の強化
  - ・ホームカミングデーへの若い世代の参加対策
  - 在学学生スタッフによるホームカミングデーの企画・運営

## 7. キャリア開発

- (1) 就職率高位安定の維持 目標就職率 80%
  - ・就職ガイダンスの充実
  - ・SPI 対策模試の強化とフォロー体制の構築
  - ・面接対策として就職対策宿泊セミナー・面接練習の拡充
  
- (2) キャリア教育と就職支援の融合による有効な学生支援
  - ・キャリアチューターのレベルアップ
  - ・キャリアリーダー制の見直し
  
- (3) その他
  - ・キャリア支援に特化したシステムの導入の検討
  - ・東京オフィス、大阪オフィスの有効活用
  - ・BtoB 企業を中心にバスで企業を回る「キャリア探検隊 in 姫路 (or 大阪)」の企画
  - ・学習支援センターの協力による SPI 対策支援
  - ・卒業生に対する再就職斡旋

## 8. アジア流通研究センター

- (1) 学術交流活動
  - ・海外で SARD 第 7 回ワークショップの展開（Society of Asian Retailing and Distribution アジア流通研究会）  
2009 年 11 月 韓国中央大学校で実施予定
  - ・外国人若手研究者の招聘及び大学院生の短期受入れ
  - ・東アジア研究の国際プロジェクトへの取組み 補助金の獲得
  - ・第 2 回『海外市場研究』の実施 9 月 上海・常州 日中のマーケティングの相違点調査

- ・提携大学との学術交流の実施（提携大学数 15～17 大学程度に拡大）

台湾	高雄第一科技大学、南台科技大学、中国科技大学
韓国	東亜大学校、中央大学校、東明大学校
中国	南開大学、東北財経大学、大連海事大学、復旦大学
ベトナム	貿易大学
オーストラリア	サンシャインコースト大学
アメリカ	ポートランド州立大学
フィンランド	バーサ大学

本年度は 1～3 大学、合計 15～17 大学と提携

韓国中央大学校と本学との共同研究の実施 「韓国在来市場の研究」

- ・提携大学と本学との具体的な交流案の作成

## （2）ビジネス交流活動

- ・海外研修団を受入れるメニューの提示及び誘致活動の強化
- ・グローバルなビジネス業界との産学連携化

## （3）学生交流活動

- ・優秀な留学生の確保
- ・留学生対策への取組み  
日本語課外指導の導入  
アジア人材資金構想 高度実践留学生育成事業への派遣
- ・グローバルな学生交流  
提携校との学生交流の活発化  
本学学生の提携校への交換留学

## 9. 財務構造の磐石化

### （1）健全性の維持

- ・3 大経費のコントロールによる予算統制  
人件費比率：50%、教育研究経費（30%）＋管理経費（10%）＝40% （帰属収入対比）
- ・資本的支出（投資）の上限額  
帰属収入－3 大経費の 50%

### （2）監査機能の充実

- ・監事、監査法人との連携による会計・業務監査の実施

### （3）堅実な資金運用の実施

## 10. 学園組織について

### （1）人件費率 50%以内での運用徹底

### （2）教員定員数に沿った、中期的採用計画の明確化

(3) 事務職員のキャリア形成

(4) 職員の時間外手当の削減

#### 1 1. その他個別施策

(1) 中長期計画である RYUKA プラン 21 に則った事業の推進

(2) 大学基準協会の指摘事項の問題解決に向けた仕組みづくり

(3) 建学の理念に則った、学部改組の実現

(4) ハラスメントの防止及びコンプライアンスの推進（啓蒙活動）を行い、本学での発生防止に取り組む

(5) 寄付金制度の再構築

(6) 第三回流通シンポジウムの開催